



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.76

Edition February 18th, 2020

WKFの意思決定プロセスと 日本人ポスト獲得の重要性

■ WKFの競技規定や年間スケジュール 大会運営方針はどこで誰が決めるのか？

2020東京オリンピックでの種目採用が決定して以降、WKFの規約には、「オリンピック種目として更なる向上を目指すこと」が掲げられました。そして時流とともに規約や競技規定が改訂され、大会が新設されたり廃止されたりしていきます。今回は、こうした方針はどこで誰が決めているのか？当連盟の意思決定機関とプロセスを解説します。

■ WKFの意思決定に関わる機関は 次の3つから成る

① 総会 (Congress)

WKFの最高意思決定機関で、原則として2年に1回、シニア世界選手権大会期間中に招集される。総会では規約の改廃、各国空手連盟(NF)加盟の可否決定、理事選挙といった最重要事項が審議される。

② 理事会 (Executive Committee)

25名の理事(2020年現在)から成る、業務執行の決定を行なう機関。

③ 委員会 (Commissions)

WKFには審判委員会、選手委員会、オリンピック戦略委員会など17の委員会があり、個別に会議を開き、担当業務を遂行している。



WKF理事一同、2018年11月 スペイン、マドリッド

■ 意思決定の流れ

様々な案件は、まず委員会に提案され、検討・審議を経て、委員会案として理事会に上程されます。理事会の審議後、再検討が必要な事項は委員会へ差し戻され、採用された事項は規約にのっとり関連する各委員会、NFに通知されます。案件によっては総会に付議されます。(次のページでWKFの意思決定プロセスを図解しています。)

〈ポスト獲得の重要性〉

他の国際スポーツ団体も同様の構造をしており、国際スポーツ界における日本の存在感を強固にするためにも、NFの発言力を高めるためにも、役員・委員のポスト獲得はたいへん重要です。特に空手母国の日本として良き伝統を守りつつ、オリンピックスポーツとして競技水準の向上を図り、世界中の人々の理解を得、一方で世界の現状・動向を知るためにも日本人メンバーの存在は欠かせません。通訳を介せず、年間最低でも2、3回世界各地で開催される委員会に継続的に出席、頻繁にスカイプで意見交換可能な方を幅広い年代でカバーする事が我が国に求められている喫緊の課題です。

世界空手連盟 事務総長

世界空手連盟 事務総長事務所

〒160-0015 東京都新宿区大京町28-12 プラウドフラット新宿御苑101
電話 03-5341-4446 FAX 03-5341-4447

WKFの意思決定機関とプロセス

各国代表者の出席で成立

総会
(原則として
2年に1度)



③内容によっては総会で話し合う

会長以下、25名の理事

理事会
(25名)



①委員会から
提案、具申



②再検討が必要なら
差し戻し

委員会
(17の委員会)

- ・ 審判委員会
- ・ 技術委員会
- ・ 競技ルール委員会
- ・ オリンピック戦略委員会
- ・ パラ空手委員会 など

(例) 選手委員会

「ジュニアの世界ランキングポイントをシニアに移行できたら良いのでは？」



④採用されたら
関連する委員会や
NFに通達

※ 今号は事務総長ニュースレターvol.57(2018年4月13日発行)を、現状に即して一部改訂したものです。